



PRESS RELEASE (2011/9/13)

九州大学創立百周年を機に、

「基幹教育院」を設置

—新しいカリキュラムの構築と運営体制の確立—

概 要

九州大学は、学士課程教育において、深淵で幅広い教養教育から専門教育に繋がる充実した一貫性のある教育を推進するための「基幹教育」を構築し、その企画運営を担う全学的教育組織として、全学の強い協力体制のもとに「基幹教育院」（教員規模 60 名程度）を平成 23 年 10 月に設置する。

基幹教育院設置後は、現在の「全学教育（教養教育・基礎教育）」に代わる「基幹教育」の構築に向けて周到な準備を行った上で、平成 26 年 4 月から開始する。

■背 景

九州大学は、様々な分野において広く全世界で活躍し、指導的な役割を果たす人材の輩出を教育の目的に掲げ、教育憲章では人間性、社会性、国際性及び専門性を重視し、全学一体となって、教育に取り組むことを謳っています。

また、第二期中期計画には、「深淵で幅広い教養教育から専門教育に繋がる充実した一貫性のある学士課程教育を実施するために、全学的な体制を整備・充実する」ことを掲げています。

九州大学は、従来から、部局の優れた研究領域を基盤として高い水準の教育を行っており、全学教育（教養教育・基礎教育）は、全学の教員による全学出動体制によって運営されてきました。

しかし、今日、多様な課題を抱えグローバル化が進む国際社会において、真にリーダーとして活躍できる人材を育成するには、これまで以上に体系的で幅広い質の高い教育を充実させる必要があります。

そこで、これを実現し、将来にわたり十分に機能させるためには、全学教育から専門教育へ、専門教育から大学院教育に至る一貫した教育システムを再構築することが不可欠であると考え、創立百周年を機に、新たな教育組織として「基幹教育院」を設置することとしました。

■内 容

基幹教育院は、平成 25 年度末までに、高い研究実績を有し教育に対する強い意欲と熱意をもった優れた教員を 60 名程度配置し、全学の教員が積極的に参画する全学出動態勢の再構築を図っていきます。
(図 1 参照)

基幹教育院は、新たなカリキュラム(基幹教育)の検討に直ちに着手し、平成 26 年度から新カリキュラムを開始することを目指します。なお、当面は、全学教育の円滑な実施と改善も行っていきます。
(図 2 参照)

「基幹教育」には、九州大学の学生が共通に持つべき学びの「基幹」を獲得したうえで、生涯に亘って自律的に学び続けるアクティブ・ラーナーの理念が込められています。

基幹教育院の構成は、次表のとおりです。

名 称	所 管 業 務
教育企画開発部	基幹教育を中心としたカリキュラムや教育手法等の開発及び教育成果の調査・分析等
特別プログラム推進部	21世紀プログラム課程や大学院教育の実質化に資する共通教育プログラムの企画・運営
教育実践部	学士課程における基幹教育科目の具体的な企画と運営
入学者選抜方法開発部	アドミッション・オフィス方式の入学者選抜方法の開発等
学生生活・修学支援開発部	学生生活、学習支援の開発等
教育支援技術室	実習等教育支援

■効 果

基幹教育院の設置より、九州大学の教員が持つ多様な知を活用し、基礎教育の充実を図るとともに、学部教育の初期段階から学部・大学院を卒業・修了した将来においても、学生が自律的に学び続けることのできる能力や態度を獲得する教育を実践、展開します。

また、自律的に学習し続ける態度の修得、言語力や基礎的な学力・技能の獲得、グローバル化社会への関心と異文化や多様な価値観への理解に繋がる授業科目や課題解決型の授業方法等を重視したカリキュラムを構築し、高い教育成果の達成を目指します。

大学院共通教育においては、各学府の教育成果をより高めるため、大学院教育の基盤的知識や高度で広汎な視野と思考力を培う授業科目を充実します。

■今後の展開

基幹教育院は、全学の人的支援により、平成25年度までに教員組織を計画的に整備します。また、現行の全学教育カリキュラムの実績を踏まえて、新しいカリキュラム（基幹教育）の検討を行い、平成26年度の開始を目指します。

基幹教育院の設置は、国際教養学部設置構想の実現など、九州大学の今後の教育改革に大きな役割を果たすこととなります。

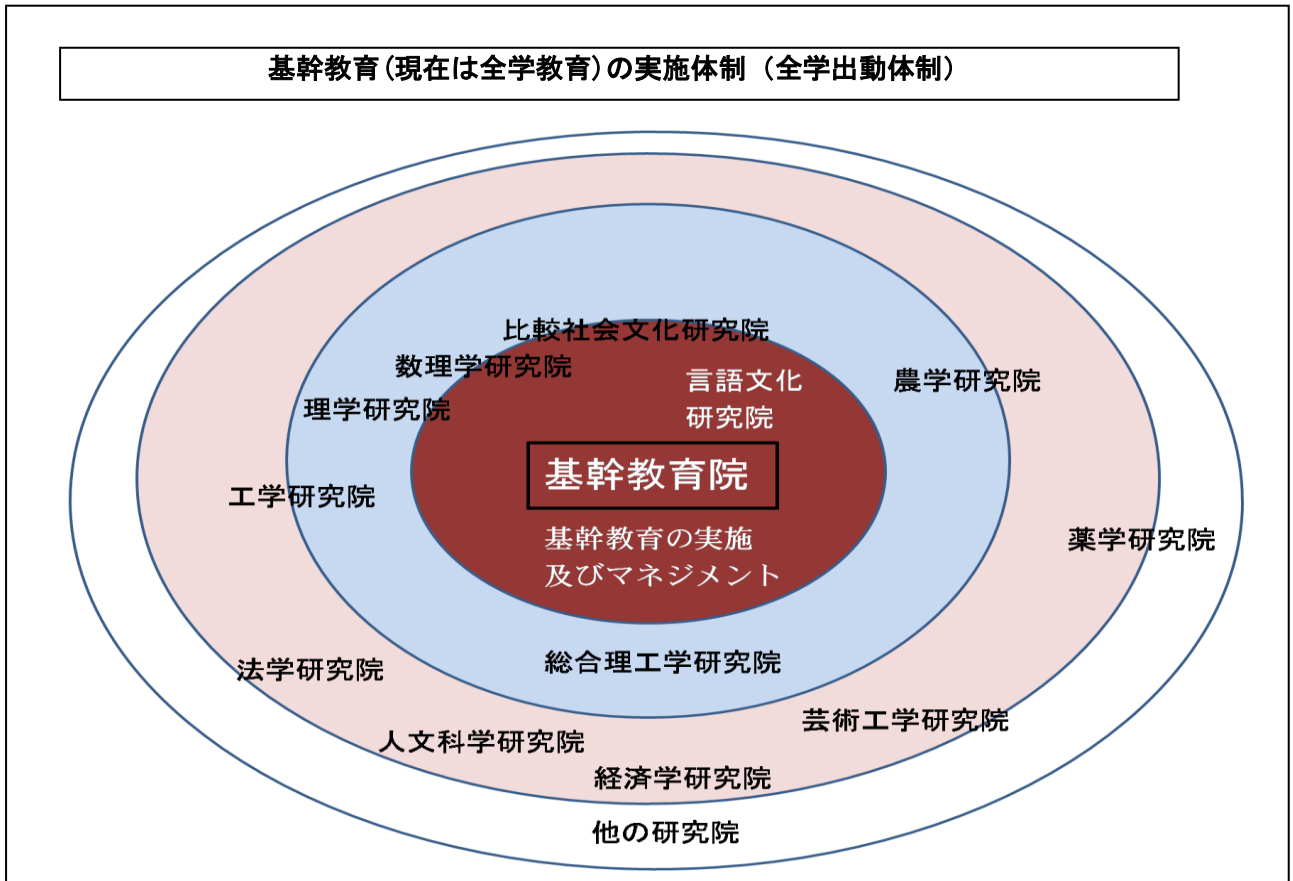
【お問い合わせ】

学務部学務企画課長 江島定人

電話：092-642-7072

Mail：gapkacho@jimu.kyushu-u.ac.jp

(図1)



(図2)

